

会計の有用性を歴史から考え直す

【概要】

今回は、「会計が役に立つ」とはどういうことか、という素朴な疑問について考えてみたいと思います。「会計は世界共通のビジネスの言語だ」という言説は人口に膾炙しており、会計が必要な知識だと言われると、異論を差し挟むのに躊躇してしまいそうです。しかし、会計、そして会計情報が有用であるという言説を証明するのは決して簡単ではありません。日常的に会計に触れている人以外からは、会計の重要性はにわかに納得しがたいかもしれません。一般に、会計情報の有用性は統計的手法を用いて検証されてきました。今回は、異なるアプローチを通じて会計が有用性について考えてみたいと思います。具体的には、歴史的な会計が「役に立った」事例を見ながら、会計の役立ちを再検討します。

講師：清水 泰洋 教授

開催日：2026年1月28日（水）

時間：19:00～20:00（質疑応答10分程度含む）

実施方法：Zoomによるオンライン

想定する受講者：

- ・ 会計の重要性を説かれて理解はするが、今ひとつ納得できていないビジネスパーソン
- ・ 会計の重要性を説得しても納得してもらえない、会計の役立ちを再確認したい経営担当者をはじめとする会計人
- ・ 卒論のテーマや所属ゼミを検討している学部生
- ・ 大学院進学を検討している学部生
- ・ MBAへの進学や学び直し、リカレント教育に関心のあるビジネスパーソン

受講料：個人賛助会員（年会費型）：1,100円（税込）

個人賛助会員（都度払型）：2,200円（税込）

法人賛助会員（1人当たり）：1,100円（税込）

非会員：5,500円（税込）

＊神戸大学在籍者は無料で受講できます

都度払型は年会費無料
詳細は以下URLで確認ください
<https://riam.jp/member>

＊何名様でもお申込みいただけます

申込方法：以下、URLもしくはQRコードからお申込みください。

お申込みいただいた方には、事務局担当者よりご案内メールをいたします。

申込みURL：<https://forms.office.com/r/GBmhQz88Rv>

申込みQRコード→

申込締切：2026年1月21日（水）17:00まで



お問い合わせ：現代経営学研究所 e-mail: seminar@riam.jp

☎ 078-805-1623（平日10:00～16:00）

＊お問い合わせ・お申し込みいただき、1週間経過後も担当者より返信がない場合は、メール不達の場合がございますので、お手数ですが事務局までお電話ください

＊12/26（金）～1/4（日）は冬季休業です。この間のお申し込み受付は、1/5（月）より順次対応となりますので、あらかじめご了承ください

研究成果還元セミナー RIAMウェンズデー・インサイトとは？

現代経営学研究所（RIAM）の新しい取り組みとして「研究成果還元セミナー RIAMウェンズデー・インサイト」を2024年8月から開講しております。

本セミナーは、神戸大学大学院経営学研究科教員や外部講師が、講師自身の著書や研究、産業界で注目されている経営理論、経営学研究の最新動向、講義内容、特定企業の企業実践、すぐれた経営者の経営手腕など、経営学の最前線のテーマについてわかりやすく解説します。毎月第4水曜日の夜（19:00-20:00）オンラインにて開催されます。各回が完結したセミナーとなっておりますので、関心がある回に、お気軽にご参加ください。

本セミナーが多様な立場の方々にとって、経営や業務の実践や研究に関する有意義なインサイトが得られる場となれればと考えています。

コーディネータ：梶原 武久（現代経営学研究所 理事長/
神戸大学大学院経営学研究科 教授）

【2025年度開講スケジュール】

*下記は、現時点でのスケジュールです。
講師の都合により、開催内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

回	開催日	講師	テーマ	申込期間
18	1月28日	清水 泰洋	会計の有用性を歴史から考え直す	12/25 ~ 1/21
19	2月25日	佐藤 正和	アントレプレナーシップ：個人・企業・社会 ーエフェクチュアル・アートシンキングの 可能性	1/29 ~ 2/18
20	3月25日	久保雄一郎	心理的オーナーシップの恩恵と弊害 ～会社のものは誰のものか～	2/26 ~ 3/18

【お申し込みの際の注意事項】

- ・本セミナーは録画され、会員向けに公開されることがあります。参加に際して、セミナーの録画および公開について同意ください。同意いただけない場合は、本セミナーを受講することはできません。あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。
- ・各回で申込みのURLが異なりますので、お間違いのないようにお申込みください。

